

XTOOL | P2

使用説明



内容

説明	1
安全第一（重要）	1
1.一般的な注意事項	1
2.レーザーに関する安全上の注意事項	2
3.火災に関する安全上の注意事項	3
4.電気に関する安全上の注意事項	3
5.警告および指示標識	4
内容物一覧	4
xTool P2 の紹介	6
インジケータリングとステータス表示の理解	7
xTool P2 使用	9
回転装置の使用	10
アフターサービス	11

説明

xTool 製品へようこそ!

製品の利用体験を向上させるために、本製品を初めて使用する場合は製品に付属するすべての資料をよくお読みください。取扱説明書の説明や要求事項に従って製品を使用しなかった場合、または誤解などにより製品を誤操作した場合、当社はそれによって生じたいかなる損失についても責任を負わないものとします。

当社は、本書の内容を厳密かつ慎重に照合しておりますが、誤字や脱字が残っている場合があります。

当社は、製品の機能とサービスの品質を継続的に改善することに専念しており、本書に記載されている製品またはソフトウェア、および本書の内容について、いつでも変更する権利を留保します。

本書は、ユーザーが製品を適切に使用することを目的とし、ハードウェアおよびソフトウェアの構成に関する説明は含まれていません。製品の構成については、マニュアルを参照してください。本書の画像は参照用であり、実際の製品と異なる場合があります。

本マニュアルは、著作権法および規制によって保護されているため、当社の書面による事前の許可なしに、本書をいかなる手段によっても複製、転写したり、いかなる有線または無線ネットワークでいかなる方法によっても送信したり、いかなる言語に翻訳したり、いかなる内容、写真、レイアウトなどの変更を行ったりすることを禁じます。

当社は製品や関連資材の継続的な改良に取り組んでいます。製品やマニュアルは変更されることがあります。更新情報は、makeblock.com/cn/docs/xtool-jp で参照できます。

安全第一（重要）

危険

レーザー製品は皮膚や目に有害な可視光線を出すことがあるので、直接見たり、直接触れたりしないようにしてください。

1.一般的な注意事項

マシンを使用する前に、すべての安全上の注意事項と手順を読み、よく理解してください。すべての安全上の注意事項に厳密に従い、マシンが適切に組み立てられ、適切に機能していることを確認してください。

安全上の注意事項に従ってください。

- 使用前に、毎回機械に損傷がないか確認してください。損傷や欠陥が見つかった場合は、いかなる方法でも操作しないでください。

- 作業場が清潔で平らであることを確認してください。レーザー管はガラスでできており、非常に壊れやすいのでご注意ください。破損した場合、xTool P2 は動作しなくなります。
- 許可なくマシンの分解や改造を行わないでください。オペレーティングシステムを変更または逆コンパイルを行わないでください。
- 動作中は xTool P2 を放置しないでください。
- マシンの操作エリアを清潔に保ってください。切断や彫刻中に蓄積した残留物や欠けは危険であり、火災の原因となる可能性があります。定期的にマシンを清掃してください。
- レーザーの動作温度は 10°C と 30°C の間です、保存おんど温度は 10°C~45°C。それは厳密に 0°C 以下で動作するように禁止されています。"

2. レーザーに関する安全上の注意事項

一般的に、レーザーはケーシングと光シールドで動作します。xTool P2 には、安全インターロックスイッチが搭載されています。作業中に xTool P2 を動かすと、レーザーは発光を停止し、人体に害を及ぼすことはありません。

安全上の注意事項に従ってください。

- マシンの一部を取り外した状態で操作しないでください。部品を取り外すと、レーザーシステムが露出し、マシンが損傷する可能性があります。炭酸ガスレーザーの光は目に見えないことを忘れないでください。
- PVC またはビニール（プラスチック素材は推奨されない）を含む物質を彫刻または切断しないでください。これらの物質（および塩素/塩化物を含むその他の物質）は、人体に非常に有害な腐食性ガスを発生させ、マシンに損傷を与える可能性があります。PVC またはビニールを含む物質を彫刻または切断することによって生じた損傷は、当社の保証対象外です。
- 未知の物質を彫刻したり切断したりしないでください。PVC やポリカーボネートを含む素材等は、気化/溶融により、有害な煙を放出する可能性があります。
- 蓋を持ち上げた状態でのレーザー動作は禁止されています。動作中は、xTool P2 が蓋によって閉じられていることを確認し、蓋の安全機構に手を加えないようにしてください。
- 煙カートリッジを正しく接続する前に、xTool P2 を操作しないでください。ほとんどの材料は、処理中に刺激性の煙を発生します。これには、ペンキ、ワニス、複合板、プラスチックなど、加工中に有害な化合物を生成するものが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

レーザーの安全性については、米国規格協会（ANSI）が定めた米国レーザー安全使用基準 Z136.1-2000 が参考となります。

このリファレンスは、連邦政府の規制やレーザーシステムメーカー、労働安全衛生局

(OSHA) のレーザー安全ガイドラインの基礎資料となります。レーザーシステムの適切な設置および使用に関する詳細な情報が記載されています。"

3.火災に関する安全上の注意事項

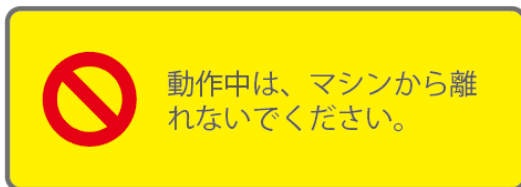
動作中は、マシンから離れないでください。

周囲に可燃物を置かないでください。

材料を切断または彫刻するとき、高密度レーザー光線を材料に照射し、表面を加熱することで燃焼せずに気化させます。しかし、ほとんどの材料は本質的に可燃性であり、発火して炎上することで、マシン（難燃性材料でできている場合でも）とその周辺を焼き尽くす可能性があります。弊社の経験から、レーザーを使用してベクター画像を基にした切断（特にアクリル）を実行すると、直火が発生する可能性が最も高くなります。

次の警告と推奨事項をよくお読みください。

- 煙が適切に排出されるように、作業場が換気のよい場所であることを確認してください。
- マシンの周りに物質（特に紙などの有機物）を積み重ねないでください。炎の広がりを引き起こし、発火のリスクを高める可能性があります。
- 動作中は、マシンから離れないでください。マシン x の設定が不適切な状態で長時間放置された場合、または機械的または電気的な故障が発生した場合、火災の原因となる場合があります。
- 定期的にマシンを清掃してください。切断や彫刻による残留物や欠けが過剰に蓄積すると、火災の危険性が高まる可能性があります。トレイは定期的に取り外して清掃し、xTool P2 内に残留物や欠けがないことを確認する必要があります。
- マシンの周囲に可燃性物質、爆発物、またはアセトン、アルコール、ガソリンなどの揮発性溶剤がないことを確認してください。
- 消火器等を近くに設置し、定期的な保守点検を行ってください。



4.電気に関する安全上の注意事項

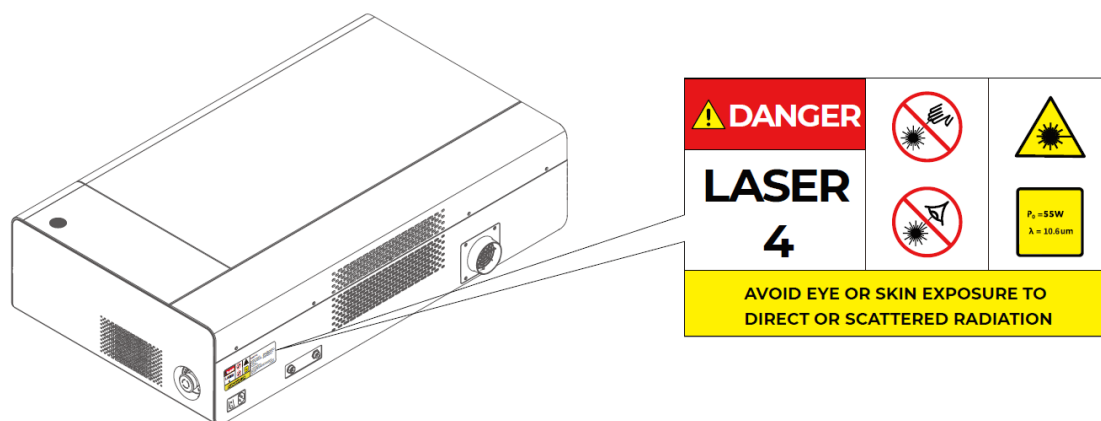
xTool P2 のレーザーチューブは、シリコンゴムのケーシングを備えており、内部の電源コードを効果的にシールドすることができます。もし、カバーが緩んで電源コードが露出しているのを発見した場合は、操作を中止し、カスタマーサービス担当者にご連絡ください。

次の警告と推奨事項をよくお読みください。





- 電源の接続中は、マシンを分解しないでください。感電の恐れがあります。
- マシンが電源に接続されているときは、手やその他の工具で電気領域に触れないでください。
- xTool P2 の電源ボタンは、本体背面にあります。(-)を押すと電源が入り、(o)を押すと電源が切れます。

5.警告および指示標識

xTool P2 では、操作前や操作中にマシンに故障や損傷が発生する可能性がある場所に、警告および指示標識があります。これらの標識が破損または紛失した場合は、ただちに交換してください。次のテンプレートを使用して、必要な標識を印刷できます。

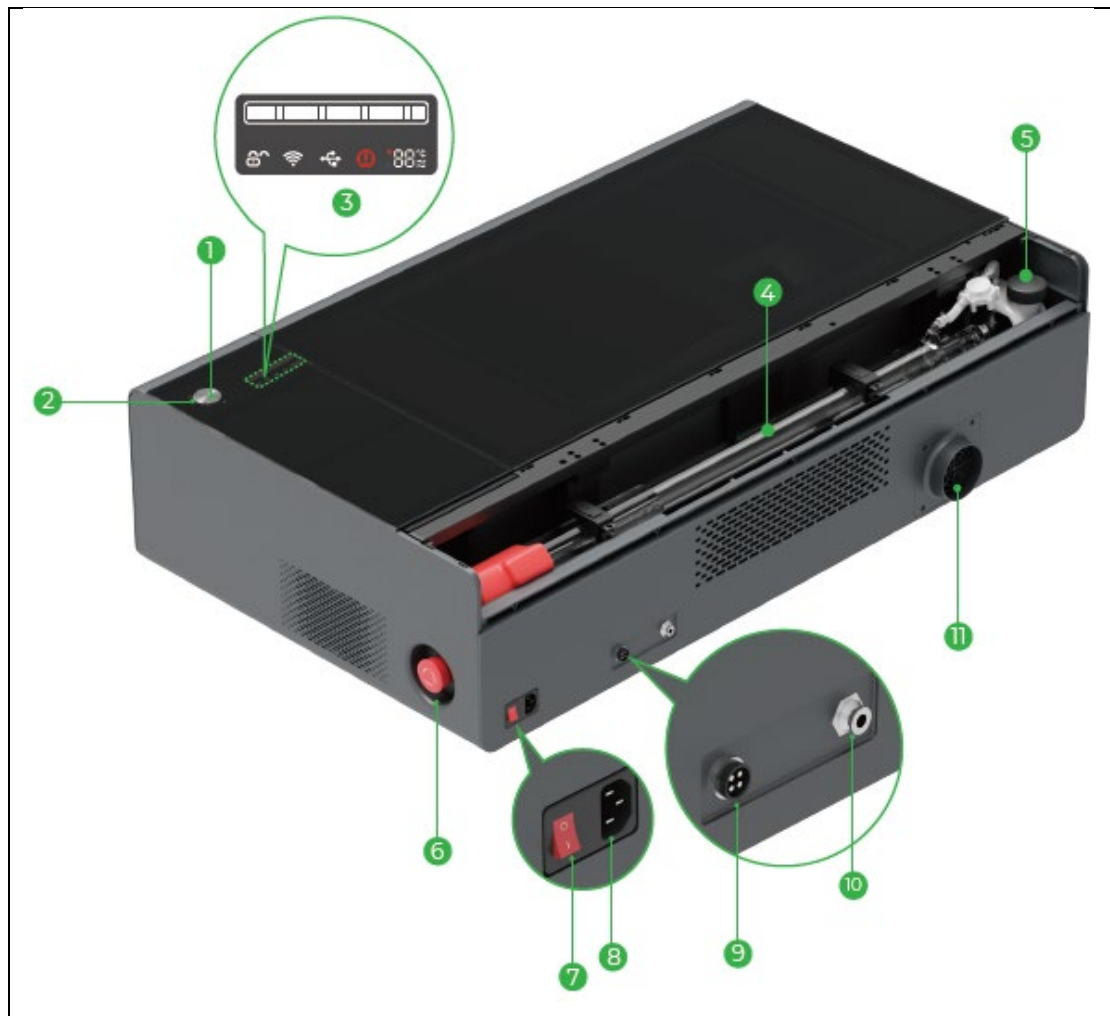


内容物一覧

 xTool P2	 電源コード	 USB ケーブル (Type-C)	 排煙管パック
---	--	---	---

 不凍液	 漏斗	 バスウッド 3 mm	 段ボール紙 3.5 mm
 透明アクリル	 ドライバー	 六角棒スパナ	 クイックガイド
 使用説明	 M3 ネジ×8 (予備部品)	 M3 ネジ×22 (予備 部品)	 材料ピン

xTool P2 の紹介



1. 開始ボタン
2. インジケータ
3. ステータスディスプレイスクリーン
4. レーザー管
5. 水槽
6. 非常停止ボタン

7. 電源スイッチ
8. 電源ポート
9. 火炎セーフティセットポート
10. チューブフィッティング
11. 排煙口



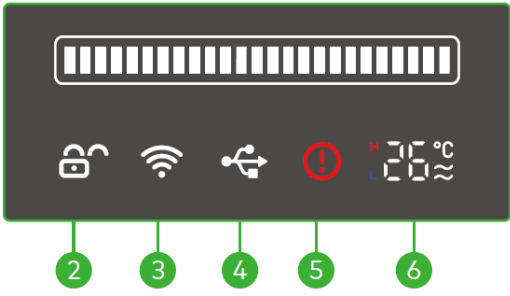
12. 遠景カメラ	16. ネットワークポート
13. 近景カメラ	17. USB ポート (Type-C)
14. レーザーヘッド	18. スラット
15. 拡張ポート	19. 底面プレート

インジケータリングとステータス表示の理解

インジケータ	スクリーン	デバイス
白色点滅	/	スタート
白色常時点灯	温度と蓋のロック状態を表示します。	待機中、未接続

白色常時点灯	接続モードアイコン表示	待機中、接続中
緑色呼吸点滅	/	睡眠中
青色点滅後、常時点灯	/	準備完了
青色常時点灯	プログレスバーが点滅して進行	タスク実行中
青色常時点灯	プログレスバーの進行停止	タスクの一時停止
緑色常時点灯	/	タスク完了
白色常時点灯	/	タスクキャンセル
紫色常時点灯	/	ファームウェア更新中
赤色常時点灯	故障表示ランプ点灯	エラーが発生しています
/	H または L 照射	"水温アラーム H: 水温が高すぎる L: 水温が低すぎる"
青色呼吸点滅	/	補正もしくは画像認識
赤色常時点灯	/	補正もしくは認識に失敗しました。一度蓋を開けてから閉める、もしくは XCS で待機状態に戻してください。
黄色常時点灯	/	"AP ネットワーク設定待機中 xTool P2 のボタンを 5 秒間長押しして、AP ネットワークの設定を開始します。2 分以内にネットワークが設定されない場合、デバイスは待機状態に戻ります。 AP ホットスポットの名称は「XTOOL-P2+MAC」の下六桁になります。"

注記: 「/」 は状態変化なしを示します。

 <p>The diagram shows a control panel with the following elements:</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. Progress bar (top) 2. Lock/Unlock icon (bottom left) 3. Wi-Fi icon (bottom left) 4. USB icon (bottom left) 5. Error icon (red exclamation mark) (bottom left) 6. Temperature display (26°C) (bottom right) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. プログレスバー 2. 蓋のロック / ロック解除 ロックされているときに無理に蓋を開けないでください。開ける必要がある場合は、まず本機のボタンを押してからロックを解除してください 3. Wi-Fiで接続 4. USB ケーブルで接続 5. エラーが発生しています 6. 水温 水温が高すぎる 水温が低すぎる
--	--

xTool P2 使用

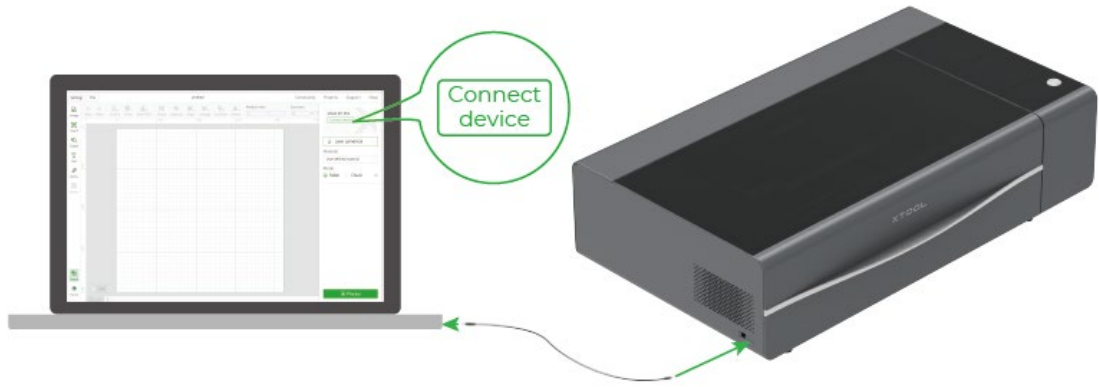
1. xTool の公式ソフトウェア XCS (xTool Creative Space) をダウンロードしてインストールします。



xTool Creative Space



2. xTool P2 をコンピュータに接続してから、公式ソフトウェア XCS (xTool Creative Space) の中で xTool P2 と接続します。



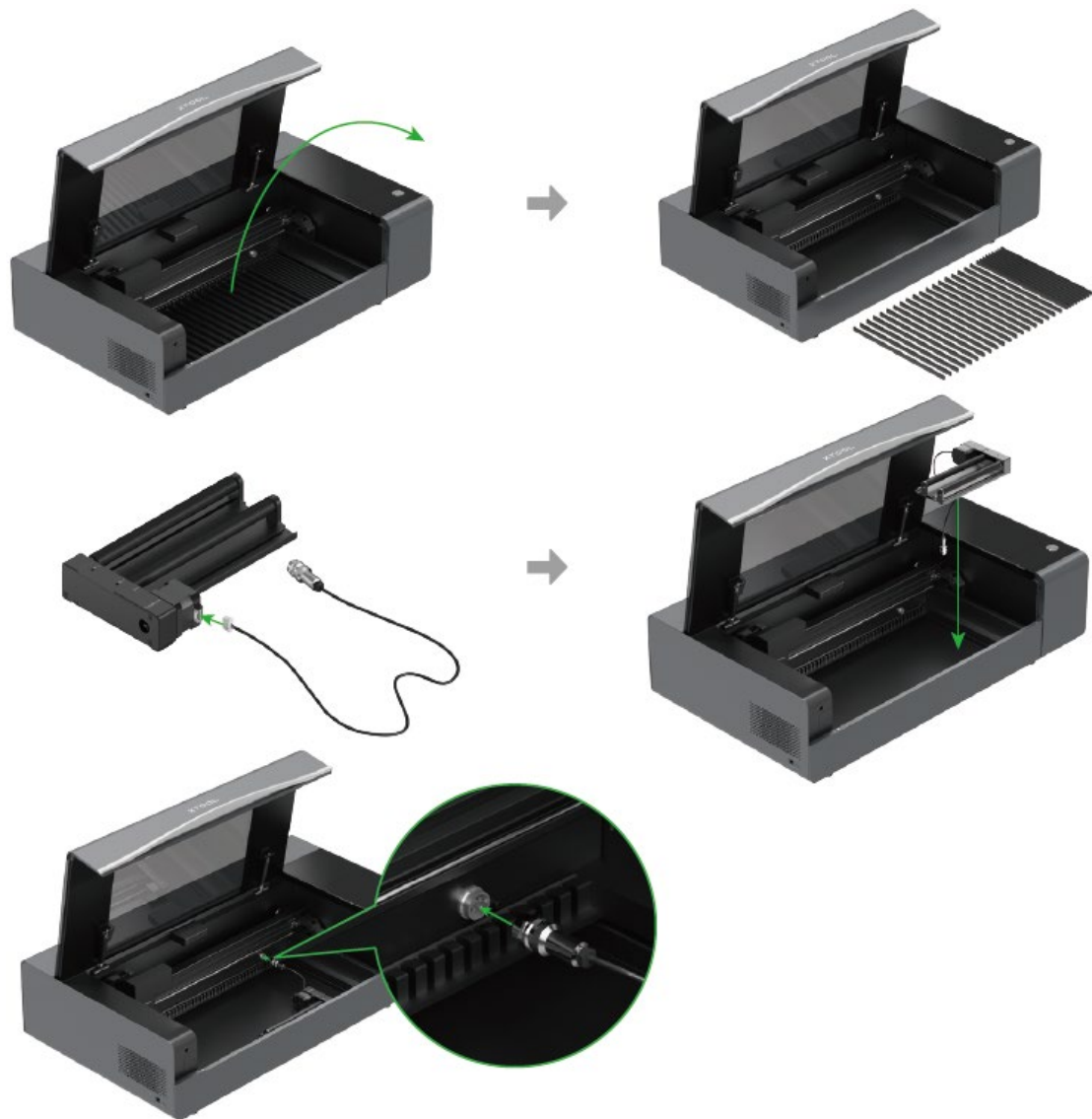
接続できたら、作成を開始できます。

XCS 上に xTool P2 の詳細な操作については、makeblock.com/cn/docs/xtool-jp を参照してください。

回転装置の使用



ロータリーアタッチメントは別売りです。



アフターサービス

テクニカルサポートについては、support@xtool.com までお問い合わせください。

アフターサービスの詳細については、jp@xtool.com にアクセスしてください。